

ゆうこう と し がく よう た よ り 友好城市岳陽信息

平成 27 年 4 月を初回に、沼津・岳陽友好都市提携 30 周年を記念して始まったこのコーナーは、沼津市の友好都市である中国湖南省岳陽市の様子を中心に、中国や岳陽についての新旧織り交ぜた情報を紹介するコーナーです。

2020 年、世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄される中、友好都市提携 35 周年を迎えた日本の沼津市と中国の岳陽市の絆を感じられる出来事がありました。今回は、友人を互いに思い合う気持ちが形となった医療物資の寄付について報告します。

今から 10 年前の平成 22(2010)年、友好都市提携 25 周年の折に岳陽市友好訪問団 11 名を沼津市へ迎え、記念式典が執り行われました。その際、岳陽市から沼津市への記念品として贈られたのが、『海内存知己 天涯若比隣』の掛け軸です。10 年の時を経て、提携 35 周年を迎えた令和 2(2020)年の今年、世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、この記念品の掛け軸の言葉の意味を再確認する出来事がありました。

沼津から岳陽へ N95 マスクや防護服などの医療物資と支援金

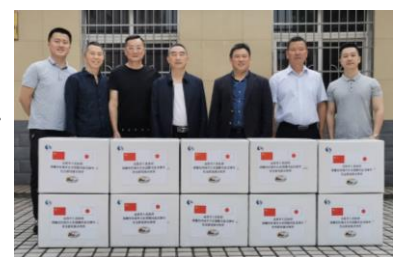
新型コロナウイルス感染症患者が最初に出たとされる湖北省武漢市からも近い岳陽市では、2020 年 1 月 21 日に岳陽市内最初の感染者が確認されました。沼津市では、いち早い支援をするために、両市が友好都市提携をする前から長く交流を続けている沼津国際交流協会が広く市民の皆さんへ支援金を募り、集まった支援金を活用して、岳陽市へ N95 マスクや防護服などの支援物資と支援金を送りました。

岳陽市では感染者累計 156 名・死亡 1 名となり、最後の患者が退院した 3 月 8 日以降は感染 0 を維持しており(7 月 1 日現在)、岳陽市から沼津国際交流協会へは荣誉证书や感謝状が届きました。



岳陽から沼津へ サージカルマスク 2 万枚

一方、静岡県内でも感染者が増加し感染予防対策に欠かせないマスクなどの医療物資不足が沼津市でも続く中、一足先に状況が落ち着いた岳陽市外事弁公室の皆さんから“互いに助け合うことだけが、この難関を乗り越える術である”とのメッセージと共に、沼津へ恩返しをしたいとの申し出がありました。5 月 18 日に沼津市に届いたマスクは、岳陽市内の工場で生産されたものとのことでした。



『海内存知己 天涯若比隣』

岳陽市からのマスク受領の際、10 年前の記念品の掛け軸を前に「心の知れた友がいれば、世界のどこにいても近しく感じる。35 年の長きに渡り築いてきた沼津市と岳陽市の友好の絆は、この困難を乗り越え、より強固なものになると確信しています。」と語った頼重市長。世界中の新型コロナウイルス感染症が収束し、安心安全な生活が早く戻ってくることを願ってやみません。



令和 2(2020)年度は、沼津市・岳陽市 友好都市提携 35 周年！